

2023年3月期 第1四半期
決算説明資料

2022年7月26日
神奈川中央交通株式会社

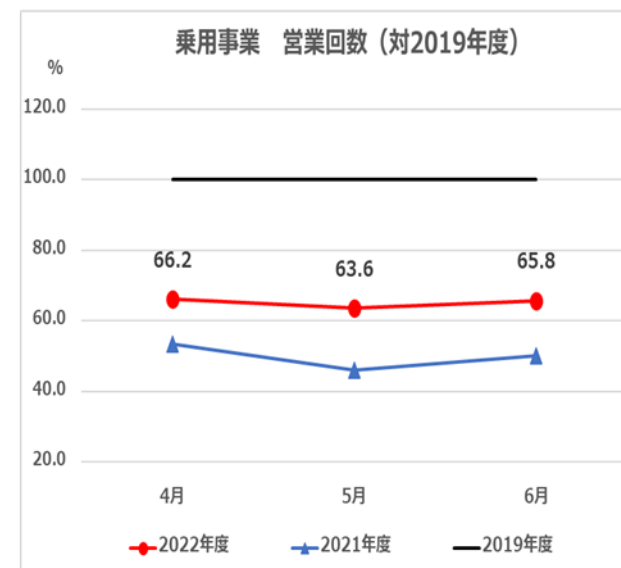
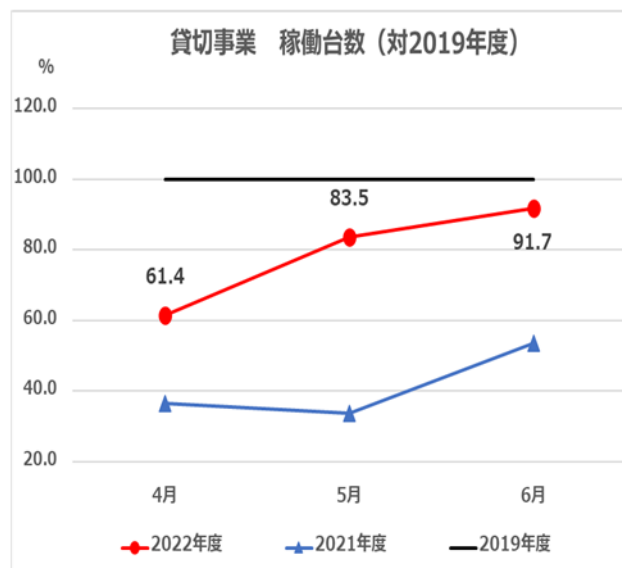
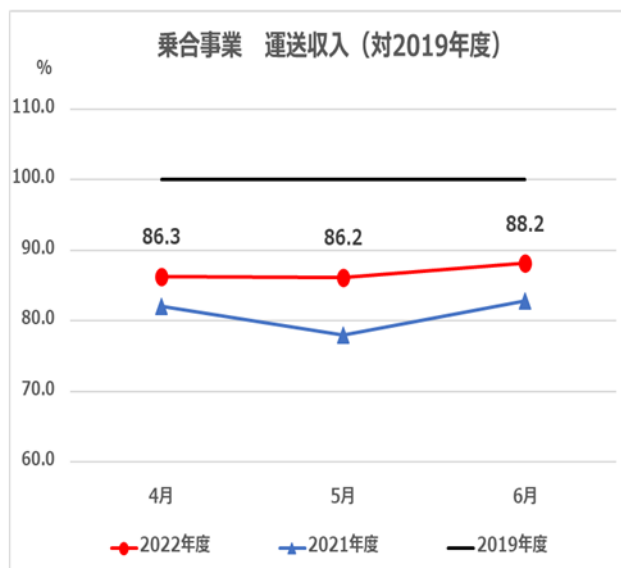
2023年3月期 第1四半期 決算概要

期中および6月末時点での状況

- 当第1四半期は、2022年3月のまん延防止等重点措置終了後から緩やかな回復基調で推移
- 前年と比較し旅客需要は回復しているものの、感染症拡大前(2019年度)の水準を下回る

乗合事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 平日を中心に旅客需要の回復が見られ、運送収入は感染症拡大前の9割弱まで回復
貸切事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2022年3月に解除されたまん延防止等重点措置の影響が5月中旬まで残ったものの、6月の稼働台数は感染症拡大前の9割まで回復
乗用事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 飲食店等の営業時間が延長されたことで夜間の旅客需要に一部回復が見られたことなどにより、営業回数は感染症拡大前の6割程度まで回復

※ 感染症拡大前:2019年度実績



(単位:百万円)

	2023年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	増減
売上高	24,722	23,686	1,036 (4.4%)
一般旅客自動車運送事業	12,539	11,231	1,308
不動産事業	1,752	1,893	△ 140
自動車販売事業	5,840	6,130	△ 290
その他の事業	6,481	6,070	411
調整額	△ 1,891	△ 1,638	△ 252
営業利益	1,448	145	1,303 (893.7%)
一般旅客自動車運送事業	403	△ 899	1,303
不動産事業	735	704	30
自動車販売事業	210	212	△ 2
その他の事業	119	146	△ 26
調整額	△ 19	△ 18	△ 1
経常利益	1,698	725	972 (134.1%)
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,392	478	913 (191.0%)
1株当たり四半期純利益	113.47円	38.99円	74.48円
減価償却費	1,542	1,658	△ 115
EBITDA(営業利益+減価償却費)	2,991	1,803	1,187

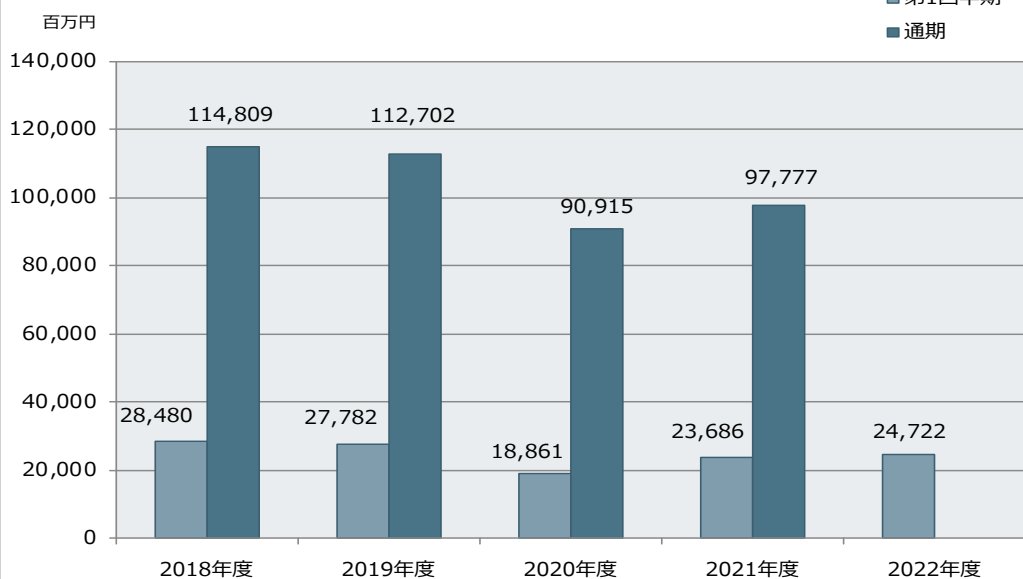
(単位:百万円)

	2023年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	増減	摘要
営業外収益	357	686	△ 329	助成金収入△341
営業外費用	107	106	1	持分法による投資損失+5 支払利息△4
特別利益	2	102	△ 100	補助金収入△80 固定資産売却益△14
特別損失	19	221	△ 202	固定資産除却損△89 固定資産圧縮損△79 減損損失△28

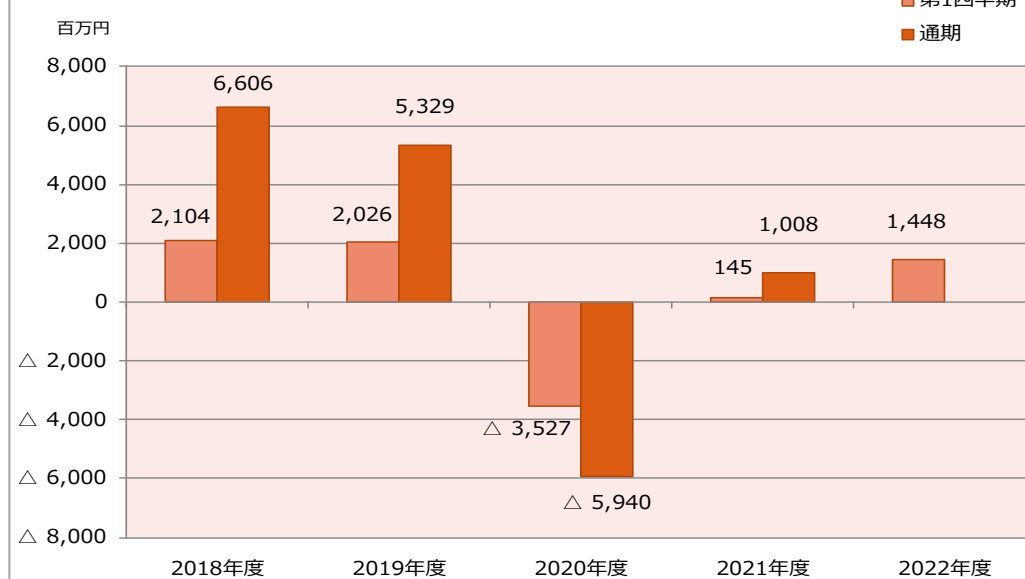
(単位:百万円)

	2023年3月期 第1四半期	2022年3月期	増減	摘要
流動資産	19,187	18,431	756 (4.1%)	商品及び製品+910
固定資産	128,932	128,475	457 (0.4%)	有形固定資産+1,625 投資有価証券△887
資産合計	148,120	146,906	1,213 (0.8%)	
流動負債	34,646	32,047	2,598 (8.1%)	賞与引当金+1,064 短期借入金+896
固定負債	59,719	61,698	△ 1,979 (△ 3.2%)	長期借入金△888 繰延税金負債△541 リース債務△455
負債合計	94,366	93,746	619 (0.7%)	
純資産合計	53,754	53,160	593 (1.1%)	利益剰余金+1,147 その他有価証券評価差額金△611
負債純資産合計	148,120	146,906	1,213 (0.8%)	
1株当たり純資産額	4,014.36円	3,971.82円	42.54円	
自己資本比率	33.3%	33.2%	0.1P	
有利子負債残高 (借入、社債及びリース)	57,313	57,686	△ 372	借入金+8 リース債務△380

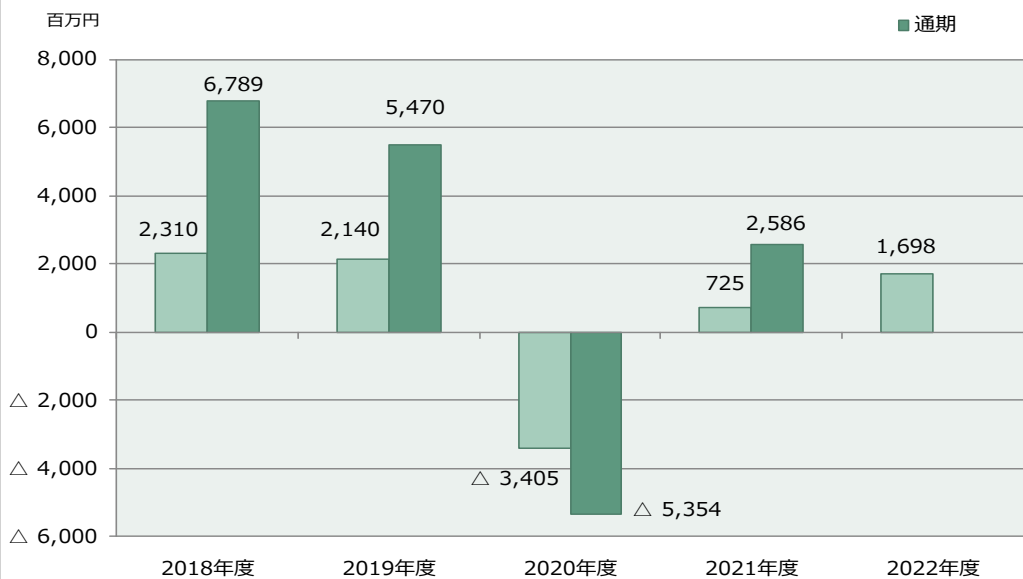
売上高



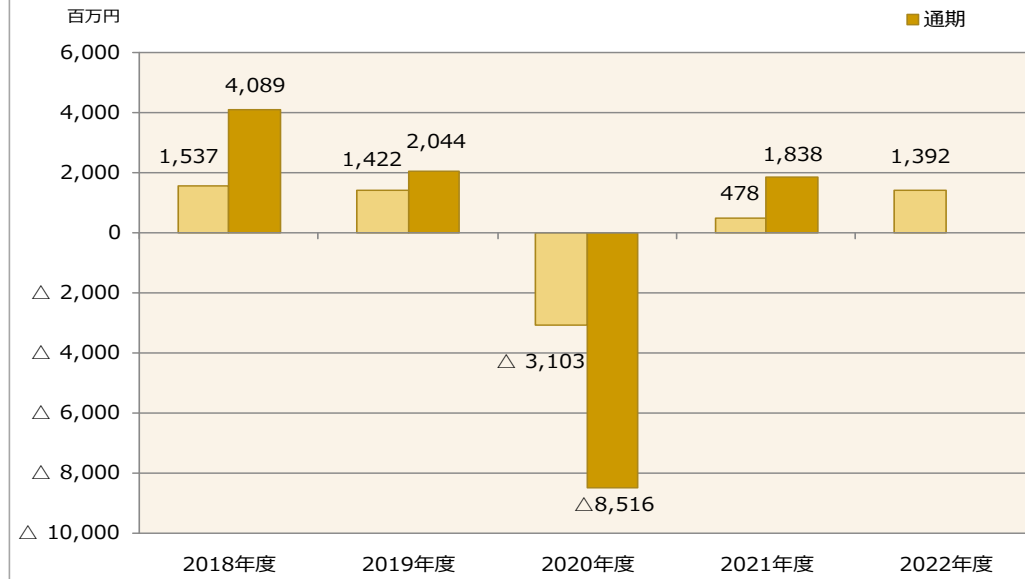
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期純利益



神奈川中央交通グループ 子会社19社、関連会社3社
うち 連結子会社 19社
持分法適用会社 2社 (大山観光電鉄(株)、(株)小田急保険サービス)

〈主な連結会社〉

- 一般旅客自動車運送事業
神奈川中央交通(株)、神奈中タクシー(株)、神奈中観光(株)
- 不動産事業
神奈川中央交通(株)、神奈中タクシー(株)、神中興業(株)
- 自動車販売事業
神奈川三菱ふそう自動車販売(株)、神奈中相模ヤナセ(株)
- その他の事業
神奈川中央交通(株)、(株)神奈中商事、(株)神奈中スポーツデザイン、
(株)アドベル、(株)神奈中情報システム、横浜ビルシステム(株)

(単位:百万円)

	2023年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	増減	摘要
売上高	12,539	11,231	1,308 (11.6%)	乗合事業+666 貸切事業+175 乗用事業+466
営業利益	403	△ 899	1,303 (-)	乗合事業+783 貸切事業+88 乗用事業+431

【対前年】

前年の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の反動もあり、旅客需要は改善し増収増益

(単位:百万円)

	2023年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	増減	摘要
売上高	1,752	1,893	△ 140 (△ 7.4%)	賃貸事業△0 分譲事業△139
営業利益	735	704	30 (4.4%)	賃貸事業+20 分譲事業+10

【対前年】

賃貸事業は、減価償却費などの費用の減少により増益

分譲事業は、戸建分譲の販売計画戸数減少により減収、宣伝広告費等の販売経費の減少などにより増益

(単位:百万円)

	2023年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	増減	摘要
売上高	5,840	6,130	△ 290 (△ 4.7%)	商用車販売事業△422 輸入車販売事業+132
営業利益	210	212	△ 2 (△ 1.2%)	商用車販売事業△1 輸入車販売事業△0

【対前年】

半導体不足に伴うメーカーの生産納期長期化の継続により、新車販売台数が減少

商用車販売事業は、自動車整備事業が堅調に推移したものの、トラックやバスの販売台数が減少したことにより減収

輸入車販売事業は、新車販売において販売台数が減少したものの、中古車販売が好調に推移し増収

※参考 新車販売台数

(単位:台)

	2023年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	増減
トラック	289	359	△ 70
バス	6	9	△ 3
輸入車	116	123	△ 7

(単位:百万円)

	2023年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	増減	摘要
売上高	6,481	6,070	411 (6.8%)	流通事業+246 サービス事業(資源活生 他)+148
営業利益	119	146	△26 (△18.3%)	流通事業△20

【対前年】

流通事業は、燃料販売単価の上昇や自動車部品の販売が増加したことなどにより増収、資源価格の高騰に伴う原価増により減益
 資源活生事業は、前期に開業したペットボトルリサイクル施設の通期寄与などにより増収

2023年3月期 業績予想 (2022年4月27日公表値)

(単位:百万円)

	2023年3月期 業績予想	2022年3月期	増減
売上高	100,600	97,777	2,822 (2.9%)
一般旅客自動車運送事業	51,170	45,016	6,153
不動産事業	7,330	7,774	△ 444
自動車販売事業	22,610	26,692	△ 4,082
その他の事業	27,220	25,648	1,571
調整額	△ 7,730	△ 7,354	△ 375
営業利益	4,780	1,008	3,771 (373.8%)
一般旅客自動車運送事業	1,350	△ 3,357	4,707
不動産事業	2,500	3,058	△ 558
自動車販売事業	400	881	△ 481
その他の事業	730	590	139
調整額	△ 200	△ 165	△ 34
経常利益	4,750	2,586	2,163 (83.6%)
親会社株主に帰属する当期純利益	3,690	1,838	1,851 (100.7%)
1株当たり当期純利益	300.69円	149.79円	150.90円
減価償却費	6,010	6,608	△ 598
資本的支出	13,230	6,125	7,104
EBITDA(営業利益+減価償却費)	10,790	7,617	3,172

※2022年4月公表の業績予想から修正しておりません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

<お問い合わせ先>

神奈川中央交通株式会社 経営戦略部 IR担当 TEL:0463-22-8894